

温泉って地方に行かないと入れないような気がしますね、東京にもたくさんありますよね。以前は東京駅にもありました。でも、そもそも温泉って何でしょう。

地面や川原を掘ると出てくるから地下水？

温泉に入ると効能や成分として〇〇が含まれています、なんて書いてあるから、ミネラルウォーター？

結論を一言で言うと **「温泉は地球からの贈り物」** です。

そして温泉と言えばバスクリン？ という訳ではありませんが、バスクリンのホームページに温泉についてのいろいろが書かれていましたので、引用させていただきます。

まず温泉とは

①温泉源から採集されるときに温度が25℃以上であること。

②指定された成分が1種類でも規定量以上含まれている事。

①又は②ですので、指定成分が入っていても、水と変わらない成分でも、25℃以上で湧き出れば温泉です。逆に指定成分が入っていれば、温度が低くても温泉になります。そして温泉水の多くは何かしらミネラルを含んでいるので、殆どの温泉水はミネラルウォーターとも言えます。（飲まないでね、飲める温泉水には基準が定められています！）

では温泉はどのようにできるのでしょうか。

1. 火山性温泉

：マグマのガス成分や熱で溶け出した地中成分などが含まれる多種多様な泉質

火山地帯では地中の浅い部分（地下数Km～10数Km）に、深部から上昇してきたマグマが1,000度以上の高温になるマグマ溜まりを作っていて、雨や雪が地中にしみ込んでできた地下水が、マグマ溜まりの熱で温められます。

2. 非火山性温泉（深層地下水型）：雨や雪が火山以外の熱で温められてできる温泉

地下では、一般的に100m深くなるごとに約2・3度ずつ温度が上昇すると言われています。

例えば地上で20度の場合、地下1,000mの地熱はおよそ40～50度になります。この熱により地下水が温められます。マグマが冷えてできた高温岩帯と呼ばれる高温の岩石により地下水が温められる場合もあります。

3. 非火山性温泉（化石海水型）

：多量の塩分を含むため25度以下でも温泉に該当することも

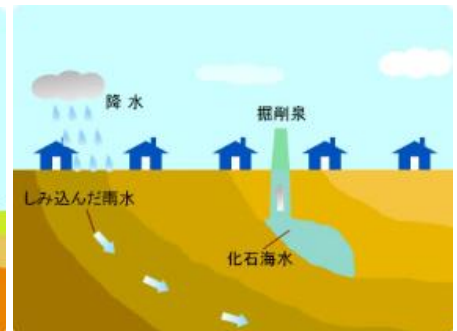
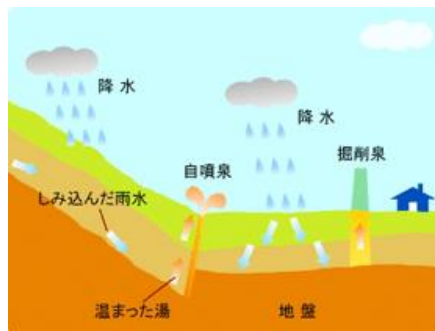
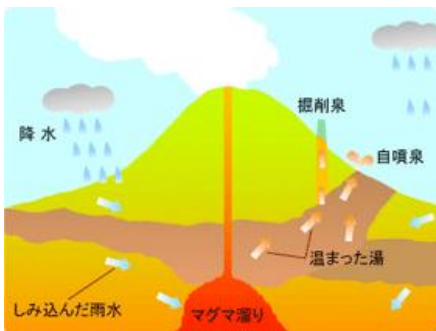
太古の地殻変動などで、古い海水が地中に閉じこめられ化石海水となります。

この化石海水が高温の岩石や、地下深くの地熱で温められます。

1. 火山性温泉

2. 非火山性温泉（深層地下水型）

3. 非火山性温泉（化石海水型）



温泉に入る時があれば成分などをよく見てみてください。

塩分濃度が高ければ、化石海水に浸かっているのかも！

太古の地球に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。